



▶ 造船所に行ってきたよ

7月25日、ジャパンマリユナイテッド(株)舞鶴事業所で「親子で探検！造船所ってどんなところ？」(近畿運輸局京都運輸支局主催)が行われ、市内外から集まった家族5組11人が参加しました。参加者はバスに乗って、明治35年に建てられた舞鶴館(旧舞鶴海軍工廠本館)や大正3年に造られた第3号ドック(旧舞鶴海軍工廠第二船渠)などを見学。同事業所職員の説明に熱心に耳を傾けていました。参加者は「船の作り方が分かってよかった」と話していました。



- 01 3号ドックで
建造中の船舶
02 舞鶴館で造船技術
の変遷を学ぶ

▶ 海の貴婦人「日本丸」初寄港

帆船「日本丸」の京都舞鶴港への初寄港。

7月28日に、来年夏に開催される「海フェスタ京都」のPRイベントが行われました。会場では、ステージパフォーマンスのほか、北部5市2町のご当地グルメやPRブースなども並び、約4,000人の来場者でにぎわいました。

また、船内見学会も行われ「海の貴婦人」と呼ばれる優雅な姿の帆船を船上から楽しみました。

翌日、29日には、シブスクールが開かれ、参加した子どもたちは、船の仕組みや航海中の話などについて真剣に学んでいました。



- 01 「海の貴婦人」の名に
ふさわしい白い船体
02 東舞鶴高と西舞鶴高
の書道部が共演
03 府北部のゆるキャラ
が大集合
04 船長のあいさつ



▲万願寺タワー選手権に挑戦

▶ 緑のしあわせ

7月27日、旧岡田中小学校で「万願寺まつり」が行われました。加佐地区でも多く生産されている舞鶴発祥の京のブランド野菜「万願寺甘とう」をたくさんの人に食べてもらおうと地元有志の実行委員会が企画したもので、今年で3回目。イベントでは「万願寺喰い競争」や「流し万願寺」、「万願寺タワー選手権」などのゲームが催されたほか、万願寺甘とうを使ったシフォンケーキや串カツなどの販売も行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

▶ 森は友達 わくわく体験

8月4日、舞鶴自然文化園で「ツリークライミング・舞鶴自然文化園の木に登ろう」が行われ、小学生とその親24人が参加しました。木と戯れて遊ぶことで、体力と自然を大切にすることを育んでもらおうと花と緑の公社が企画したものです。インストラクターに手伝ってもらいながら、おそろおそろ木に登っていた子どもたちは、慣れてくると、自ら木の幹にまたがったり、逆さ向けにぶら下がったりと自然との一体感を楽しんでいました。

参加した子どもたちは「初めて木の上に登った」「怖かったけど、とても楽しかった」「木の上からは海が見えて、とてもきれいだった」などと話していました。



▲自由自在にロープを操って遊ぶ子どもたち



▲世界にひとつだけの作品を仕上げる

▶ 「七宝かさね」に挑戦

8月5日、赤れんが工房で、市内の小学生6人が、「七宝かさね」を体験しました。「七宝かさね」は、金箔や銀箔、螺鈿などを図柄に合わせて張り重ねる技法を使った工芸。合同会社まいづる広域観光公社が舞鶴固有の魅力を紹介する着地型観光ツアー「まいづる四季旅」の一環として実施したものです。参加した子どもたちは、「薄い箔を下絵に合わせて切るのが難しかった」「上手にできてうれしかった」と話していました。